

設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-15-改 ₁	制定	2008年4月1日
			改訂	2015年3月1日
機器・材料	延焼防止機能付集合管		クボタ編	

1. 目的・概要

排水集合管に延焼防止機能部品付集合管を用いることにより排水立て管及び横枝管を塩ビ管等を用いて施工できるようにする。

国土交通大臣認定取得品・日本消防設備安全センター性能評定取得品（2時間耐火）

共住区画：H17年消防庁告知第4号 令8区画：平成17年消防予第53号通知 に対応

※総務省令第40号適応物件にも原則採用可能

<使用条件概要>

立て管：100A 塩ビ管・耐火二層管（内管VP）

横枝管：100A以下の塩ビ管（VP・VU）耐熱塩ビ管・発泡三層管

スラブ：150mm以上の鉄筋コンクリート スリーブ：直径210mm以下

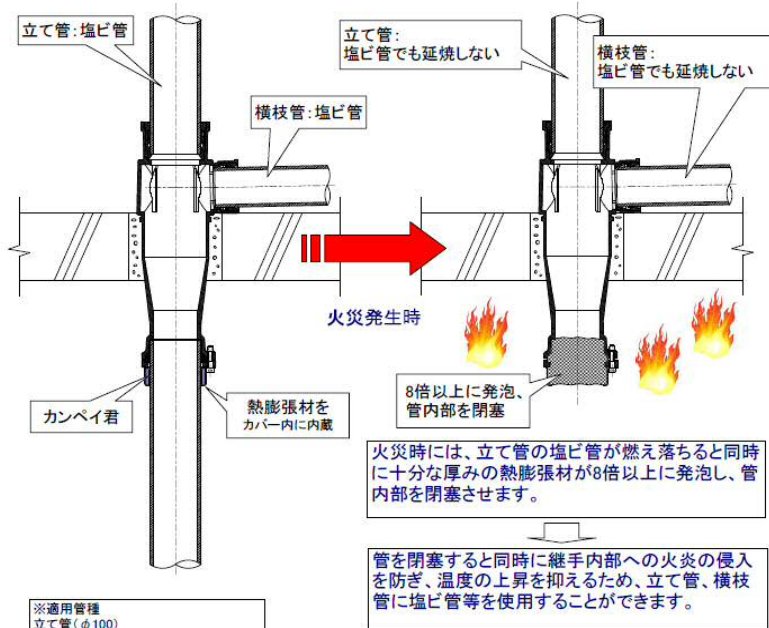
2. 施工状況の概要

	<p>現状配管 (現行消防法で規定されている配管)</p>	<p>新提案 (消防評定取得により、クボタ集合管との組合せで実現)</p>	
		<p>イ 横枝管:塩ビ管</p>	<p>ロ 立て管と横枝管:塩ビ管</p>
排水立て管の配管例			
管種	立て管と横枝管:耐火二層管(VP)	<p>立て管:耐火二層管(内管VP)と塩ビ管(VP) 横枝管:塩ビ管(VP、VU)、耐熱塩ビ(HT-VP)、発泡三層管(RF-VP)</p>	
排水立て管・横枝管の配管例			

資 料

3. 製品の機能と構造

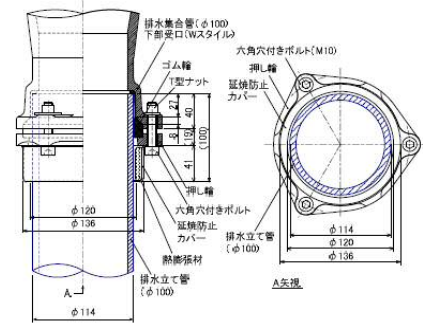
火災時に延焼防止カバー内部の熱膨張材が発泡し、管内部を閉塞させます。
火炎をシャットアウトし、上階への延焼を防止します。



※カンペイ君は、発泡後の熱膨張材が金物内部にとどまる構造をしているため、脱落することなく、管内部を閉塞させます。

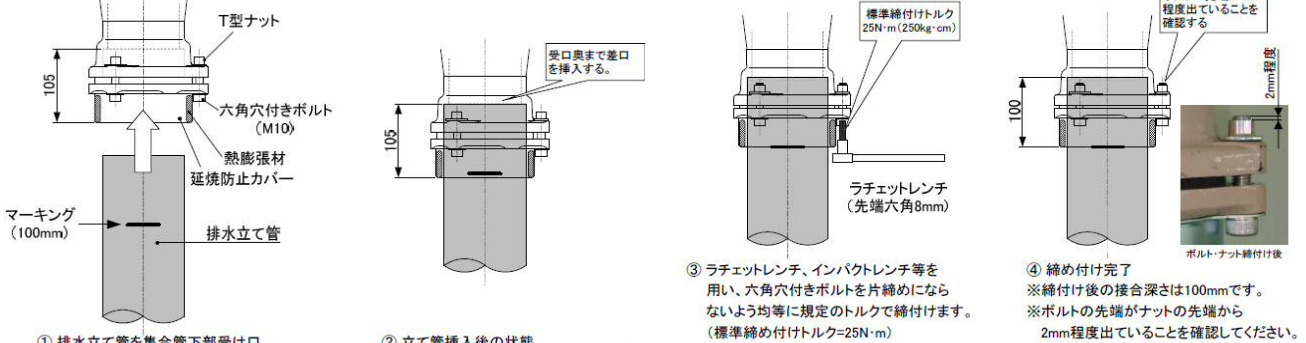


●構造図



- ※適用管種
立て管(φ100)
硬質塩化ビニル管(VP)
排水・通気用耐火二層管(内管VP)
横枝管(φ100以下)
硬質塩化ビニル管(VP, VU)
耐熱性塩化ビニル管(HT-VP)
リサイクル発泡三層管(RF-VP)

4. 施工手順



5. 取り扱い注意事項

- ・ 差込タイプの集合管、MD継手や特殊通気継手、他社の排水用特殊継手等には装着しないこと。
- ・ 集合管をスラブに埋め戻さない施工の場合(天井吊り下げの場合等)は使用しないこと。
- ・ 脚部継手からの立ち上がり部部の処理及び最下階専用集合管との組み合わせについては一部区画処理方法が異なる場合があるのでご注意ください。(技術資料参照)
- ・ 延焼防止部品の装着されていない集合管に現場で追加装着しないこと。
- ・ 延焼防止部品は工場出荷時に予め装着されているので、施工現場で取り外さないこと。
- ・ 衝撃等により金属カバーが変形している場合はそのまま使用しないこと。
- ・ 立て管に遮音/防露処理等を施す場合、または静音シート付直管等を使用する場合は、必ず所轄の消防にご確認すること。

6. 問合せ先

クボタシーアイ株式会社 設備・プラント営業部

東日本エリア(関東・甲信越・東北・北海道) 東京本社 担当:橋本 TEL03-5246-7897 又は弊社営業担当まで
西日本エリア(近畿・東海・中四国・九州) 本社 担当:岸本 TEL06-6648-2265 又は弊社営業担当まで